

今日

## 大阪万博 EVバスリサイクル

大阪・関西万博で使われた EVモーターズ・ジャパン製 EVバスの「リサイクル（処分・移送）」状況は、2026年5月時点で以下のように整理できます。結論として、富山県高岡市の巨大リサイクル工場へ順次移送され、最終的には解体・資源回収される見通しが最も確度の高い情報です。 [ライブニュース](#)

### 結論：万博EVバスは富山県の大型リサイクル工場へ移送開始

- 大阪市森之宮に大量に保管されていた約190台のEVバス（万博で使用）について、2026年5月18日から撤去・移送作業が開始。 [テリースポーツ](#)
- 移送先は富山県高岡市の巨大リサイクル工場と判明。ここは使用済み電車・バスの解体や中古バス販売を行う施設。 [ライブニュース](#)
- EVモーターズ・ジャパン（EVMJ）は民事再生手続き中であり、手続き完了までは工場で保管 → その後に解体・資源回収という流れになる見込み。 [ライブニュース](#)

### なぜ「リサイクル」行きになったのか

#### 1. 重大な構造不良・安全性問題

- ブレーキ系統の欠陥、溶接不良、部品脱落など多数の不具合。
- 特にラテラルロッド破断という致命的欠陥が2026年2月に発覚。 [ライブニュース](#)
- 国交省も全国317台の点検を指示し、113台の運行停止を求めた。 [読売新聞オンライン](#)

#### 2. 大阪メトロが「安全確保の見直しなし」と判断

- 6台の独自点検で新たな破断が見つかり、2026年3月末に全車両の使用断念を決定。 [読売新聞オンライン](#)

#### 3. 路線バス転用も不可能に

- 万博後の転用を前提に国・大阪府から40億円以上の補助金が投入されていたが、転用断念 → 補助金返還協議へ。 [読売新聞オンライン](#)

### 富山県のリサイクル工場で何が行われるのか

- 敷地14万7000㎡、屋内工場1万5000㎡の巨大施設。
- 使用済み電車・バスの解体・資源回収（鉄・アルミ・銅など）を行う。 [ライブニュース](#)
- EVバスのバッテリーやインバータはロシア輸出不可（制裁対象）のため、国内での解体・再資源化が必須。 [ライブニュース](#)

### 「ロシアへ中古車輸出」説は否定

- 富山県伏木富山港は中古車輸出拠点だが、電気バス・バッテリーは制裁で輸出禁止。
- よって海外転売ではなく国内リサイクルが確定的。 [ライブニュース](#)

### 現在の進捗（2026年5月時点）

- 大阪市城東区に100台以上保管 → 6月中旬に撤去完了予定。 [テリースポーツ](#)
- 5月18日：第1弾として2台が森之宮から出発。 [ライブニュース](#)
- 今後も順次、富山県の工場へ移送される見込み。

### 今後の焦点

- EVMJの民事再生手続きの行方
- 大阪メトロが購入代金（約75億円）をどこまで回収できるか
- 補助金返還の扱い
- EVバスのリサイクル費用を誰が負担するか

必要であれば、

- 富山県のリサイクル工場の詳細
- EVバスのバッテリーリサイクル工程
- 大阪メトロの損失処理の仕組みなど、さらに深掘りして解説できます。

どの部分を詳しく知りたいですか？

[富山工場の詳細](#) / [EVバスの欠陥の技術的分析](#) / [補助金返還問題](#)

[ライブニュース](#)

【独自】移動先は富山県の巨大リサイクル工場...

[テリースポーツ](#)

万博EVバス撤去開始トラブル多発で大阪メトロ

[すべて表示](#)

🔍 🗨️ 📄 📑 🗑️ 🗑️ ページ内で編集します

Copilotへメッセージを送る

+

Smart

🗨️